

# 森と、45年。

Fujisawa City SHONEN NO MORI 45th Anniversary  
since 1980. 5. 5 | 2025 | To the next 45 years

青少年野外活動施設 藤沢市少年の森  
45周年特別号





# 45周年に寄せて



## 藤沢市長 鈴木 恒夫

藤沢市少年の森が開園45周年という節目を迎えられましたことを、大変うれしく思います。こうした佳き日を迎えられましたのは、少年の森で元気に遊ぶ多くのこどもたち、こどもたちを支えてくださる青少年育成団体の皆様、そして少年の森の維持管理にご尽力いただいた皆様など、多くの方々のご尽力の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

少年の森は、1980年（昭和55年）の開園以来、昭和・平成・令和と時代が移り変わる中、いつの時代もこどもたちの笑顔と歓声が絶えず響き渡り、自由に遊びながら仲間と絆を深め、成長を実感できるかけがえのない場所です。

特に印象深いのは、多様な難易度のアスレチックで、これまでできなかったことに挑戦し、できるようになったこどもたちの「無理だと思っていたのにできた!」「あきらめなくてよかった!」という輝く笑顔です。遊びを通じてチャレンジする心が育まれ、確かな成長が見られることに、こどもたちが少年の森とともに育っていることを強く感じています。

現在、少年の森は再整備の検討を進めておりますが、今後もこどもたちの好奇心を刺激し、わくわくできるフィールドを目指すとともに、人と自然との多様な出会いを通じて広がる人の和が、より一層大きくなる場所であり続けることを願い、お祝いの言葉といたします。



## 公益財団法人 藤沢市みらい創造財団 理事長 宮治 正志

藤沢市少年の森が開園45周年を迎えるにあたり、平成7年から管理運営を担ってきた（公財）藤沢市みらい創造財団を代表してご挨拶を申し上げます。

我が国を代表する観光地「江の島」を擁し、「海」「潮風」という言葉で語られることの多い湘南の元気都市ふじさわではありますが、それだけに、緑に囲まれ、里山の風景がいまなお残る少年の森は、藤沢市にとって大変に貴重な財産です。

45年前に、この地に藤沢市の次代を担う青少年のための施設をつくった当時の皆様の先見の明に感服するとともに、約半世紀にわたり維持管理してきた先人の皆様のご努力に敬意を表するものです。

この間、藤沢のこどもたちは、一度はここで遊び、昆虫とふれあい、飯盒炊爨<sup>はんごうすいざん</sup>を行い、枝打ち間伐を体験し、お米を作り、キャンプファイアを行い、アスレチックで運動するなど、得難い思い出を作って成長していきました。そして現在は、時代の変化に合わせて、少年の森もこれまでの役割に加えて、こどもたちだけでなく大人も楽しめ、地域の活性化につながるような機能を付加していくための準備が進んでいると承知しています。しかし、どんなに時代は変わっても、藤沢のこどもたち、青少年が未来に向けて羽ばたくための貴重な体験をするイ場所、という役割は不変だと思います。

これまでの少年の森を振り返りつつ、次の45年に向けて、ますます重要な役割が期待される藤沢市少年の森を、皆さんとともに護り、育てていきたいと考えておりますので、今後ともご支援、ご助言をよろしくお願い申し上げます。



現在のみどりの泉付近にて  
（1965年頃・少年の森開園前）

御所見まちづくり推進協議会 会長 落合 伸一



藤沢市少年の森開園 45周年誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

御所見まちづくり推進協議会は、令和5年度から、藤沢市の実施する「少年の森再整備計画」について市と協力し、地区内の小中学校全児童・生徒や地域住民に対して、再整備に関するアンケートを実施したり、意見交換会や視察研修会を実施してまいりました。

今後も、少年の森が「地域住民のふれあい・憩いの場」として、また、「青少年健全育成の場」として、地域に愛され続ける施設となりますよう、会を挙げて支援・協力してまいります。

御所見地区郷土づくり推進会議 議長 御厨 弘子



藤沢市少年の森が45周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

自然とふれあいながら学べる貴重な場として、また地域交流と絆を育む拠点として長年にわたり親しまれてきました。今後、より魅力的な施設へと発展し、自然豊かな御所見のランドマークとしてその役割を繋げていただき、私たち御所見地区郷土づくり推進会議も一緒に歩み、見守ってまいります。

地域の皆様には和やかに楽しめる憩いの場として、また、藤沢市北部地域がより一層の発展に繋がりますよう心より期待しております。



## 藤沢市ボーイスカウト連絡会 代表幹事 古市 勝巳



少年の森開園後、要望してきたのが宿泊施設の設置でした。やがて「かわせみハウス」が完成、現在は予約が取れないほどです。東日本大震災の後、福島県のボーイスカウトが海岸で遊べないとの話で、それなら湘南の海で遊んでもらおうと、平成25年に続き、平成28年11月に招待をしました。土曜日は江の島で遊び、少年の森野外炊事場で教育長も参加してカレーライスで夕食。「ちびどころ」がまだ無くて、LPガスを運び上げて炊飯をしました。翌日は少年の森で湘南地域のスカウトと合わせて約660人で大集会。福島のスカウトは、昨年もかわせみハウスを利用しましたが、その中の大学生スカウトから「以前宿泊した大切な思い出があるんですよ」との言葉に感激しました。

## 藤沢市ガールスカウト連絡会 代表幹事 山口 仁美



少年の森45周年おめでとうございます。私達ガールスカウトは藤沢市において設立65周年を迎えます。少年の森が出来るまでは家庭のお庭にて野外料理、野外活動を実施しておりました。活動の為の施設は集団生活、体験活動に無くてはならない大変重要な施設で、少年の森は藤沢市に一つしかない青少年が安心して利用できる施設です。

開所当時から青少年関係、地域の方、学校関係の方、藤沢市みらい創造財団の方々と運営会議を開き、地域の子どもたちの使用と青少年育成施設としての方向性を何回も打ち合わせしていただき、利用者の声を聴いて、宿泊施設、シャワーの取り付け、大釜の設置、森の整備など、子どもたちが自然の中でのびのびと活動できる状況を作ってくれました。

子ども達の宿泊体験、森の中での自然体験、子どもフェスティバルの開催等市民にとって無くてはならない大事な施設です。これからも青少年が安心して活動できる施設であることを願っております。45年もの間、最高の施設を目指し努力されてこられました財団の皆様には感謝で一杯です。

## 藤沢市青少年活動リーダーバンク 佐藤 裕之

少年の森の開園45周年、おめでとうございます。

開園日の昭和55年5月5日、ピッカピカの小学1年生だった私は、片瀬公民館(今の片瀬市民センター)のサークル「片瀬少年少女コーラス教室」の仲間と開園セレモニーに参加しました。広い芝生広場やアスレチックに感動しながら、芝生広場のステージで数曲歌ったことを鮮明に覚えています。以来、熱烈なリピーター…とまではいきませんが、事あるごとに少年の森を訪れました。

平成に入り、宿泊施設「かわせみハウス」が出来た時には、藤沢の魅力が増えた!と嬉しくなりました。かわせみハウスの運営委員として、どうしたら充実した施設運営ができるかを議論したのが、つい先日のごとく感じています。

あっという間の45年、私にとって少年の森は、「藤沢の心のオアシス」です。



# 開園から今日まで

作成 じにい  
写真 のびた

## 1975年(昭和50年)

- ▶「藤沢市新総合計画」に青少年健全育成を目途とする  
野外活動施設が位置づけされる

## 1978年(昭和53年)頃

- ▶文部省「野外活動施設補助事業——グリーンスポーツ施設整備事業——」の対象地として、葉山市長、企画課の市役所職員が足を運ぶ

## 1979年(昭和54年)5月

- ▶基本設計 福岡スポーツ研究所  
“こどもは家の子テレビの子”から“こどもは風の子太陽の子”

## 1970



少年の森 建設中  
(1979年)



少年の森 オープン式典  
(1980年)



石碑の前にて  
(1980年)



みどりの泉  
(1980年)

野外炊事場  
(1980年代)



## 1980年(昭和55年) 5月5日

## 1980

- ▶藤沢市少年の森 オープン式典  
神奈川県下の先駆的役割を担い、唯一の総合的野外活動施設として開設

- ▶教育委員会の社会教育部、青少年課管轄

## 1983年(昭和58年)

- ▶水遊び広場(じゃぶじゃぶ池)完成

## 1986年(昭和61年)

- ▶フィールドアスレチックの改修、20基になる
- ▶キャンプ場を改修、現在の配置に近い状態になる

少年の森の詩(風の子砦)  
(1980年)

## 1990年(平成2年)

## 1990

- ▶多目的運動広場(クローバー広場・さわやか広場)オープン

## 1992年(平成4年)

- ▶散策路整備。グリーンアドベンチャー設置

## 1995年(平成7年)

- ▶(財)藤沢市青少年協会設立(※(公財)藤沢市みらい創造財団の前身)  
市の直営から、管理委託となり、(財)藤沢市青少年協会が  
管理運営する

じゃぶじゃぶ池  
(1986年)



神奈川新聞・広報ふじさわ  
(1985年)



芝生広場  
(1997年)



少年の森誕生

## 1980年 出来事

モスクワオリンピックのボイコット / パーソナルコンピューター 発表 / ファミコン 発売 / ルービックキューブ 流行 / マツダファミリア(3ドアハッチバック) がはやる / 山口百恵 引退 / 松田聖子 デビュー / ジョンレノン 没 3年B組金八先生第2シリーズ / 日本の自動車生産台数1100万台で世界一 / 携帯電話もCDもまだない

# 2000

## 2002年(平成14年)

- ▶「生き物を放す」事業終了
- ▶春の大型連休に、学習水田に入って「どろんこの宝さがし」を開始



じゃぶじゃぶ池で遊ぶ子どもたち  
(2000年代)



学習水田でどろんこ  
(2009年)

## 2005年(平成17年)

- ▶指定管理者制度の導入  
(財)藤沢市青少年協会が引き続き指定管理者として管理運営する
- ▶藤沢ロータリークラブの寄付を受けて、宿泊研修施設「かわせみハウス」オープン。  
夏期のテント泊に加えて通年で宿泊可能になる

“ガラケー”で撮影する父母  
(2009年)



## 2006年(平成18年)

- ▶「森の寺子屋」事業開始

## 2007年(平成19年)

- ▶まちづくり交付金による管理棟の改修

## 2008年(平成20年)

- ▶正門、キャンプ場、グラウンド2か所に「門」を設置
- ▶この頃から「自然体験活動」の要素を取り入れる

## 2009年(平成21年)

- ▶キャンプ場、野外炊事場での家族小グループの受入れを開始
- ▶家族キャンプ期間を設ける



かわせみハウス完成  
(2005年)

## 2020年(令和2年)

- ▶コロナ禍の中、開園40周年記念事業
- ▶開園40周年を記念し、ボランティアチーム「少年の森だいきクラブ」を結成

## 2023年(令和5年)

- ▶冬の目玉として「焚き火」を再開  
キャンプブームの背景もあり、大好評

## 2024年(令和6年)

- ▶「森のマルシェ」「森のフリーマーケット」「森の音楽会」開催
- ▶「持ち込みテント泊」期間を設ける

## 2025年(令和7年)

- ▶藤沢市少年の森 45周年
- ▶かわせみハウス 20周年



## 2010年(平成22年)

- ▶(財)藤沢市青少年協会、(財)藤沢市芸術文化振興財団、(財)藤沢市スポーツ振興財団が統合し、(財)藤沢市みらい創造財団を設立

# 2010

## 2012年(平成24年)

- ▶(財)藤沢市みらい創造財団を公益財団法人に移行
- ▶少年の森のキャラクター“もーりー”誕生、藤沢市の主査級職員研修の中で生まれる



もーりー(2012年)

## 2013年(平成25年)

- ▶冬季、土日の「焚き火」開始  
好評であったがマイナス評価もあり、2015年までの3年間で終了

## 2014年(平成26年)

- ▶かわせみハウス運営委員会を解散
- ▶少年の森運営委員会を設置
- ▶駐車場を36台から55台に拡大



## 2016年(平成28年)

- ▶「森の寺子屋」事業を終了し、「プレーパーク」事業へ

## 2017年(平成29年)

- ▶宿泊団体の希望からガス整備のある調理場を別棟に設置、名称は「ちびどころ」

## 2018年(平成30年)

- ▶駐車場が108台に拡大



森のフリーマーケット  
(2025年)



みらい子どもフェスタ  
(2025年)

## 1980年 どんな年?

高度経済成長の時代を経て、都市化が始まりました。自然との直接体験が極端に減少した頃と言われています。少年の森のある藤沢市北部・御所見地区は、自然も豊かで当時も薪炭を使った生活が残っていた地区だったと聞いています。

# MAP

## 現在の少年の森

敷地面積は約9万平方メートル（東京ドーム約2個分）を超え、様々な動植物が生息しています。季節の移り変わりを楽しめます。



# 1 野外炊事場



森の中を少し歩いていくと、野外炊事場が見えます。事業以外でも宿泊やデイキャンプでご利用いただけます。(最大200人まで)

# 2 テントサイト

夏の間、森の中でテントで宿泊が可能です。森の音を目覚ましにぜひ一度宿泊ください。(テント24張り)



# 3 散策路



少年の森園内の奥まで広がっています。朝や夜にはいつもと違う生き物に出会えるかもしれません。

# 4 じゃぶじゃぶ池



水遊びができます。初春にはヒキガエルの卵をたくさん見ることができます。

# 5 営火場

サンデープレーパーク(事業)では、薪を組むところから火おこしまで体験できます。夏のキャンプファイアも見どころです。



# 6 クローバー広場



スポーツ少年団の野球チーム等の練習でご利用いただけます。(事前予約制)

# 7 アスレチック

森の中にあるアスレチックは全部で20基。その他、木製遊具もこどもから大人まで楽しめます。



# 8 かわせみハウス



青少年団体の宿泊や研修施設として年間を通してご利用いただけます。(最大40人まで宿泊可能)

# 9 みどりの泉



藤沢市の鳥“カワセミ”をはじめ、アオサギ、マガモなどの鳥類、ギンヤンマ、コシアキトンボなどのトンボ類も多くみられます。

# 10 芝生広場

正門をくぐると出迎えてくれるのが、大きなケヤキのある芝生広場です。焚き火ができます(夏季除く)。



# 11 自由広場



ボール遊びや虫取りもできる広場です。森の丸太で作ったベンチが目印です。

# 12 学習水田



稲を田植えから体験し、稲の成長と利用を学びます。春の連休にはどろんこになって宝探しを楽しめます。

# 13 さわやか広場

桜やイロハモミジの木のある静かな場所です。団体登録でご利用いただけます。(事前予約制)



# 管理棟



困ったらここへ来てね。優しい職員が待っています。遊びのヒントを教えてください。(授乳室あり)

# 休憩棟

屋根付きの休憩所です。真夏でも雨の日でもお弁当が食べられます。冬には薪ストーブで温まりましょう。



# 水源地



少年の森の森の中やじゃぶじゃぶ池、学習水田、その先まで続いている水の源は森の奥にあります。



宿泊研修施設

# かわせみハウス 20周年

文 じにい

写真 のびた



建設中のかわせみハウス

**目** 験体験の重要性、集団生活での創意工夫の創出、少年の森の復活など、青少年団体や（財）藤沢市青少年協会（（公財）藤沢市みらい創造財団の前身）理事会や評議委員会、藤沢市青少年問題協議会の提言が1998年（平成10年）にありました。

2002年（平成14年）には、少年の森のテント利用者もピーク時（1990年（平成2年））の約1/3に減少していました。

そこに、藤沢ロータリークラブ50周年事業として、当時の藤沢ロータリークラブ50周年委員長の木島英夫様を始めとする藤沢ロータリークラブの皆様のご寄付のお話しをいただき、青少年健全育成のための少年の森宿泊研修施設の建設が2003年（平成15年）9月に決定されました。

藤沢ロータリークラブからの500万に加え、日本自転車振興会からの補助金24,224,000円、市の負担金により、総工費49,994,000円で建設されました。（総面積251.74㎡）

2003年（平成15年）から建設計画・設計図の作成、少年の森宿泊施設利用検討委員会を立ち上げ、2005年（平成17年）3月27日に開所式を行いました。



開所式

**か** わせみハウスの愛称は、少年の森来園者と藤沢市内の小学生を対象に募集し、114件の応募の中から運営委員会が決めました。命名をしてくれた方は、無記名で辻堂小学校6年生との記載があるだけでした。小学校に問い合わせするなどしましたが、名乗り出る方はいらっしゃらず命名者不明となっています。



研修ホール(1F)

**宿** 泊研修施設運営委員会を設け（9年間）、利用者のアンケート調査に基づく運営の改善を図り、利用者、運営委員会とともに「かわせみハウス」を作り上げていきました。

2005年（平成17年）から2024年度末（令和6年度末）までの20年間、総利用者は、1,441団体・33,028人のみなさまに親しまれてきました。



宿泊部屋(2F)

宿泊研修施設運営委員会 初代運営委員長  
**井出茂康**

かわせみハウス。私が中学3年生の時に少年の森ができ、リーダー研修会を初めて受講して以来、少年の森とつながりを持ちました。

仕事を始めて少年の森ともあまりかかわることがなくなりましたが、こどもが学校に入り、学校の活動から市の教育機関や県の教育活動とかかわるうちに、かわせみハウスが建設され、宿泊施設運営委員会にかかわるようになりました。

懐かしさもありいろいろ話しながら、地域のこどもたちの宿泊施設として使用方法や施設の課題を運営委員のみなさまと検討しました。物品返却の仕方、ごみの受け取り、利用者の快適度向上、コミュニティバス、冬季の利用促進、設備・備品の充実、料金の改定、少年の森全体の課題もよく話しました。

時は流れかわせみハウス20周年と経過し、これからも地域のおじさんとしてですが、関わりながら見守っていきたく思います。

# #少年の森の森の生き物たち

作成 じにい 写真 のびた



ここでは、来園者から伺った話、かつての新聞からの切り抜き記事等からの情報・記録となります。  
なお、専門的な調査については、神奈川県立生命の星・地球博物館管轄の「神奈川県植物誌調査会（藤沢グループ）」が毎年調査を行っています。藤沢市による調査結果「第2回藤沢市自然環境実態調査（平成23年～平成25年度実施）」や、「藤沢市生物多様性地域戦略（平成30年策定）」も参考になります。NPO法人藤沢グリーンスタッフの会も毎年植物調査をしています。

.....



- 1980年（昭和55年）以前** ▶ 田んぼとコナラ・クヌギの薪炭林とため池、スギ・ヒノキの植林地です。  
▶ 1970年（昭和45年）頃までは猟場でした。コジユケイ・キジ・カモ・ヒヨドリ・キジバトなどの狩猟ができ、今も散弾銃7.5号の空薬莢のごみが園内で見つかります。  
▶ ヘイケボタルが生息していたそうです。  
開園当時の7月と8月のキャンプファイア中に飛んでいたそうです。
- 1987年（昭和62年）前後** ▶ 県ホテル保護連絡協議会の方が自宅で育てた幼虫を放流したという記事が残っています。（「広報ふじさわ」1987年7月25日号）（「神奈川新聞」1987年7月19日）  
▶ 同時にシジミ・カワニナも放流されています。

⋮

当時は、こうして自然を豊かにすることがいいとされていたようです。

そして、自然を守ろうと伝えていました。

少なくなった生き物をこどもたちに見せてあげたいという思いも強くありました。

⋮

- 1990年（平成2年）** ▶ 少年の森事業「こどもミニ釣り大会つかみどり」のため、ザリガニ・タナゴ・モソゴ・ドジョウ・メダカ・コイを放流した記録があります。  
▶ 少年の森事業「カブトムシを少年の森に放すお手伝い募集」を開催しました。  
1000匹のカブトムシを親子200人で放しました。  
▶ リスやカメを放す記録もあります。（「湘南朝日」1990年5月21日）
- 1999年（平成11年）** ▶ オオクワガタの目撃情報がありました。
- 2000年（平成12年）** ▶ 開園20周年記念に、ホテルの幼虫の放流を企画しましたが、自然生態系の攪乱にあたりと市の指導により中止となりました。時代は変わりました。  
▶ 当時、ホテルは2、3匹。見かけない年もありました。  
▶ カワニナは放流。その後7年、養殖・放流を行いました。  
園外に流れ出たカワニナを園内に戻す作業もしました。
- 2002年（平成14年）** ▶ 少年の森事業「カブトムシを放す会」最終回。  
この年まで10年実施されていました。400人以上の親子が集まりました。
- 2007年（平成19年）** ▶ ホテルが多く飛び始めました。





**2009年(平成21年)** ▶ ホタルが「西日本型ゲンジボタル」であることが判明。

東日本型は4秒に1回、西日本型は2秒に1回と、発光パターンが異なります。

交雑が問題視されていますが、ホタルのいない遠藤笹窪谷への影響はないだろうとの判断で静観。市の指導の下、「ホタルを増やす活動」と「ホタルの公開」を中止しました。「ホタルの公開」は「夕涼み会」となりました。

1987年(昭和62年)前後に放したホタルが問題かと考えられています。

開園前に生息していたといわれるヘイケボタルは、長く確認されていません。

▶ みどりの泉にはミシシippアカミガメが17匹生息。

他にもヒラリーカエルガメ・クサガメが生息していました。

**2018年(平成30年)** ▶ 藤沢クマゼミ調査研究会により、クマゼミの抜け殻が初発見されました。

▶ コナラ・クヌギのナラ枯れが少年の森でも始まりました。

2024(令和6)年度まで499本中310本(62%)を枯れ死により伐木。

さらに立ち枯れも多数ある状況で、未調査です。

コナラ・クヌギは薪炭として20年程度で伐採し、萌芽更新させるべきところを50年以上も伐らずにいたことがナラ枯れの原因と言われています。

▶ スギ・ヒノキの「溝腐れ病」も目立つようになってきました。

1955年頃の苗木時の感染から20年以上を経て溝ができることで、中を腐らせます。



**2025年(令和7年)** ▶ 少年の森といえば

▶ カワセミはよく飛んでいます。フクロウも毎日のように鳴いています。

エナガ・コジュケイ・コゲラ・アオゲラ など

冬になるとジョウビタキ・シメ・イカルが来ます。ルリビタキがいるときも。

▶ マドジョウ(外来種)・モツゴ(クチボソ)・ヨシノボリがいます。

サワガニはよく見かけ、モクズガニにも出会えます。アズマヒキガエルも生息しています。

▶ オニヤンマ・ギンヤンマ・ヤマサナエ・ハグロトンボもたくさん飛んでいます。

ヒグラシ・ニイニイゼミ・ツクツクボウシ・ミンミンゼミ・アブラゼミ

ヒラタクワガタ・コクワガタ・ノコギリクワガタ・カブトムシ

タマムシ・ナナフシ

ナガサキアゲハ・ジャコウアゲハ・アゲハ類・ルリタテハ

オオミズアオ・イボタガ・ウスタビガ・クスサン

キイロスズメバチ・ニホンミツバチ・オオスズメバチ・モンズメバチ など

▶ アオダイショウ・ヤマカガシにもよく出会います。

シロマダラ・ヒバカリ・ジムグリ・シマヘビ など

▶ 野ウサギ・野ネズミ・タヌキが生息しています。

▶ アライグマもいます。タイワンリスはまだみかけません。

▶ 春になるとキンランはとて多く、シュンランの群生地は二か所。

エビネランも10株ほどあります。

▶ 星は、夏だと3等星まで見えます。

天頂付近の白鳥座のアルビレオがギリギリ見られます。

藤沢でこの星空はさすがと湘南台文化センターこども館プラネタリウムのスタッフから言われています。



# 森日和

Stories at Shonen no Mori



癒しの場所、思いっきり遊べる場所、出会いの場所、子育ての場所、心の居場所……。ゆかりの深い人々から、この場所での思い出の写真や言葉をお寄せいただきました。



私たち中島フレンズは、週2回午前中にさわやか広場で練習しています。少年の森の四季折々の移り変わりに癒されながら、素敵な仲間たちと和気あいあいとプレーを楽しんでいます。天気の良い日は、富士山がすごく大きく見えて最高です。自然豊かな少年の森は、御所見地区の癒しの場所です。

中島フレンズ 代表 小倉久美子



少年の森開園45周年、誠にありがとうございます。大山グラウンド・ゴルフ同好会は、70歳以上の団体会員16名で活動しています。少年の森の広場でグラウンド・ゴルフの練習を毎週金曜日に行っています。この広場は、10数年前から使用しており、これからも継続していきます。

大山グラウンド・ゴルフ同好会  
代表 石橋滋



私は、打戻の宇都母知神社宮司を務めております。園内「みどりの泉」は当社飛び地の溜池ですが、197年前の江戸時代には、すでにその存在が「相州高座郡打戻村絵図」(当社蔵)により確認されました。本年、少年の森や各関係者のご尽力のもと溜池祭を現地で斎行しました。稲作を支えた溜池がその長い歴史を現在に繋いでくれています。幼少の頃より慣れ親しんできた藤沢市少年の森の開園45周年をお祝い申し上げます。今後益々のご発展となりますようご祈念申し上げます。

宇都母知神社 御厨浩和



今から20年くらい前のGWのイベントです。ネイチャーゲームやどろんこ遊びを存分に楽しみました。1年を通してアスレチックに挑戦したり、おたまじゃくしやザリガニを見つけたり、山のようにセミのぬけ殻を拾ったりと少年の森には楽しませていただきました。ありがとうございます。そして、これからもよろしく。

御所見地区青少年育成協力会



少年の森には良いところがたくさんあります。自然豊かで、木のアスレチックもあり、冬は焚き火もできて、たくさんの楽しいがあります。スタッフの皆さんも優しく、子ども達の「やりたい」を応援してくれ、生きていく力が育ち感謝です。子ども達にとって大切な居場所です。大人になっても来たい場所です。ずっとこのままであり続けて下さい。ありがとうございます。込めて。

フリースクール まなぶばTREK





僕がこんなになったのは少年の森のせいです。

意味もなくタイムアタックしたアスレチックや、日が暮れるまで木製武器を作りまくった管理棟前。挙げ句の果てにはホームセンターで買ったブルーシートをこさえて、森の奥に秘密基地を作ったり、なんでもありで、「不可能なんてない!」と感じさせてくれた日々が、僕の大切な宝物です。

そんな少年期を過ごした僕は今、クリエイティブ系のフリーランスとして奮闘中です。今はまだ芽が出ず辛い日々が続きますが、あんなに自由で活発な日々を過ごしては、夢を捨てられる大人には育ちません。

僕をこんな野心家にしたのはこの少年の森です。責任とって、いつまでもその場所で見守っててくださいね。

45周年、おめでとうございます。

ヘビーリピーター 鈴木全



少年の森開園10周年前後にスタッフとして過ごしました。当時、少年の森に取り入れたキャンプファイヤーを彩る「トーチトワリング」やファイヤープログラム、テント用の「すのこ」の廃材を活用した「焼き板」が進化を遂げながら現在も受け継いでいることを聞き、大変感慨深いものを感じました。夏のキャンプ期間はほとんど少年の森にいるような、素晴らしい仲間達と過ごした素晴らしい日々でした。

アルバイト卒業生 黒澤卓司  
(くろべー・90')



長男の秘密基地づくりをそっと見守ってくださった運営の皆様の姿勢に感銘を受けて、私から共同研究をお願いしてから8年が経ちました。安全安心を優先するあまり、大人が先回りしてこどもたちの創造の芽を摘みがちな社会の中で、いつまでもこどもたちの創造性に寄り添う少年の森であって欲しいと願っています。

慶應義塾大学  
准教授 松川昌平

「森」がきっかけとなり、大学では野外教育の研究室へ。そこでの学びと体験が、青少年教育施設への就職、さらにはアウトドアインストラクターの道へと繋がる。現在も森林公園やキャンプ場など、自然と人が関わる場所が仕事先となっている。「もし、森でアルバイトをしていなければ…」、どんな世界線を歩んでいるのか。。

アルバイト卒業生  
足柄森林公園 丸太の森  
山ロー也  
(ばん・91'~94')



少年の森45周年誠におめでとうございます。Leafは主にツリークライミングの体験会などの開催でお世話になりました。特に多くの人との交流のあったマルシェでは、来場者も含むすべての人がこの森を愛していることわかる朗らかな空気感の中、とてもあたたかい時間を皆さまと共有できたことが嬉しい思い出です。

ツリークライミング®ジャパン  
クラブLeaf  
久保田 和彦



「いつから勤務ですか」「次の土曜日から」で臨時職員となった。市制50周年事業に参加するため、団体名を「せみの会」としたが、既に「少年の森ボランティアクラブ」だった。気がつくとその会で毎年5月5日に、少年の森で板を焼いている。45年経過した少年の森はどう変わるのか。変わらないのは、開園以来「風の子砦」と呼ぶ人は誰もいない。

アルバイト卒業生 井出猛



自主保育の活動の為、緑を求めて出会った場所が少年の森。森と程よく整備された広場、現代人が失った「不便さ」が人を成長させてくれる場所は近隣にはなかなかありません。自主保育と共に立ち上げたプレイパークとフリースクールの活動も森でしました。こども達もいっぱい笑って喧嘩もしたけど、緑の中で遊んでいたら忘れちゃう。木でできたアスレチックには森の恵みが宿り、池は凍って氷の上に乗れたり、それを支えてくれるスタッフがいて他には無い最高の場所です。ありがとう!!

自主保育 野島志都



我が家はともに男の子で、現在大学1年生と中学2年生の仲良し兄弟です。上の子が7歳くらいから通い始めた気がします。こども達も母も安心安全で楽しめる居場所がココには詰まっています。こどもが無茶をしても暖かい眼差しで見守ってくれているスタッフの方々。森のイベントでは木工やアウトドア知識、キャンプ飯などを教えてもらいました。私達親子が貴重な体験、かけがえの無い思い出を沢山作る事が出来たのも少年の森とジョニーと大勢のスタッフと学生の皆さんに出会ったからです。感謝しかありません。まだまだ親子で遊びに行きたい居場所です。

**来園者 西村志保**

中高生の娘達が1歳の頃から通っています。森の魅力はこどもの安全を考え、森の整備をしていること。最大の魅力はスタッフ!卒業しても会ってます。みんな、これからの子どもや家族にわくわくの自然体験やイベントをぜひ!私も大きくなった娘たちと「だいすきクラブ」で少年の森に絶対恩返し!ばーなー、またね。

**来園者 竹内百亜奈**



この森の魅力は春にわかる。  
冬を耐えた草花や昆虫が目覚め喜びに満ち溢れる。  
この森の魅力は夏にわかる。  
地中からは蝉が空にはタマムシが虹色の光を放つ。  
この森の魅力は秋にわかる。  
冬が来るよと空から木の葉の便りが舞い落ちる。  
この森の魅力は冬にわかる。  
落ち葉を踏みしめ、時には霜柱の感触を楽しむ。  
人が望む快適さと自然の生き物のバランスは難しい。  
この魅力ある貴重な森が失われないことを切に願う。

**写真家 YOKO・F**



未就学のこども達を仲間内で預け合ってきた。少年の森には何度も行き、何度も泊った。一番下の子が小学生になった今、平日に行くことは少なくなったが、土日はまだまだ一緒に遊びに行く。一人の時間が増えた私は、趣味の竹細工をするために森に行くようになった。大好きな森で制作する時間は、とても貴重で贅沢なものだ。

**竹細工 角田佐知子**



少年の森45周年、おめでとうございます。四季の移ろいを感じながら、泥だらけになり、池でびしょ濡れになって遊ぶこどもたち。森の奥から響く笑い声に、自然に包まれながら子が健やかに育ちゆくのが感じます。豊かで力強い自然とともに、成長を見守れる日々感謝しています。

**青空自主保育 ていだのふあ**



私たちNPO法人藤沢グリーンスタッフの会(略称FGS)は、藤沢市内の里山・緑地の保全を始め、普及啓発・養成講座・環境調査・支援などの活動を通じて広く一般市民が自然を学ぶ機会を提供することに努めています。少年の森においては森の整備活動・植物調査の他「ふじさわ子ども森の探偵団」と題して小学生を対象にノコギリ体験や、やきいも作りのイベントを実施し参加者からご好評をいただいています。

**NPO法人  
藤沢グリーンスタッフの会**



「ありがとう少年の森」  
昭和55年生れの私にとって少年の森は、同じ年の友人、家族の思い出の場所、そして御所見(ごしょみ)愛児園・小・中学校時代のアスレチックや昆虫探し、サッカー部の練習でお世話になった育ちの場でした。まちがいなく、少森のアスレチックに一番手垢をつけたこどもの一人だと自負しています。少森よ、これからもこどもたちに寄り添う育ちの森であれ。

**くりこま高原自然学校  
校長 塚原俊也**



少年の森で木を感じ、木で遊ぶ「木育」がスタートしたのは2021年。あれから5年の歳月が経ちましたが、多くの親子が木で楽器作りやおもちゃ作りを楽しんでくださり、ものづくりの中で、こどもの可能性を親御さんが発見する驚きも共有させていただきました。これからも木の温もりを感じられる活動で一緒にしていきたいです。

**ウッドコンシェルジュ  
三代目合同会社  
佐々木友路**



少年の森で過ごした日々は、今でも大切な思い出です。子どもたちと全力で遊んで、気づけば自分が一番はしゃいでた気がします。あの頃に鍛えられた体力と笑顔、今もなんとか健在です。45周年、本当におめでとうございます。

**元職員 中川智昭  
(おさるお兄さん・2013-15)**



この度は藤沢市少年の森開園45周年、誠にありがとうございます。

当協議会は、開園当初より田んぼでの稲作体験学習事業において指導を担っています。子ども達が自然と向き合い、食や環境への理解を深める貴重な学びの場として少年の森の存在は大きな意義を持っています。今後とも少年の森が次の世代へ豊かな自然と学びを伝える場として発展されますことをお祈り申し上げます。

**藤沢市農業経営士協議会  
会長 加藤登**



少年の森開園45周年おめでとうございます。

私が小学校低学年の時、歩き遠足で溜池に行きました。そこが現在のみどりの泉で池の中に小さな島があり、後日わかったのですが、打戻の宇都母知神社が所有していると聞きました。池のそばから山あいには谷戸田がありました。

あれから歳月が流れ、平成3年に藤沢市農業経営士協議会に入会しました。当会は、小学生の農業体験学習を少年の森が開園から米造りの指導を行っており、私も手伝いをさせて頂きました。これが私と森との出会いでした。

振り返ればいろいろなことがありました。冷夏でコメの収穫が激減したかと思えば、暑くて水不足になり、水道水で稲作したこともありました。子ども達が裸足で田んぼに入りぬるぬると言いながら田植えをして、草刈り、脱穀、餅つきとわずかな時間ではありますが、色々な体験をして頂いたかと思っています。私も皆様と作業をする中で学ぶことが多々ありました。ありがとうございました。

これからも少年の森が子ども達が安心して遊べる所、学習出来る森であり続けてください。

**地域の協力農家 亀井利貞**



まだ夜露の残る少年の森のクローバー広場で、朝早くから練習のために集まった野球チーム。森の緑を背中に感じながら白球を追いかける選手達。少しずつ緑色に染まっていくユニフォーム。1日の練習が終わり、最後に広場に向かって一礼。幾人もの球児が「ありがとうございました」と、この少年の森の広場に感謝しています。

**六会レッズ  
令和7年度マネージャー  
鈴木 都三聡**



# 1980.....2025

日本スポーツ文化研究所 代表

福岡 孝純

ふくおか たかすみ



1979年(昭和54年)、少年の森は設計されました。設計された福岡孝純先生にご寄稿いただきました。

.....

「こどもは風の子、太陽の子」から少年の森

この度は藤沢市少年の森、開園45周年おめでとうございます。みなさんがこの場所を大切にしてくれたこと、とても嬉しく思います。私は生涯を

スポーツの普及に捧げ、45年前に少年の森を設計しました。少年の森は普通の公園とは違い、教育的な目的を持って作られた施設です。この節目を記念して、少年の森が出来るまでを振り返ってみたいと思います。

私は藤沢市辻堂で生まれ、こどもの頃は病弱で内気だったため学校にも通わず家に引きこもっていました。どんどん体力がなくなってしまう、思い立って海岸でリハビリトレーニングを始めたことで元気になり、学校にも通えるようになりました。この体験から私はドイツで健康スポーツの研究をして、1970年代からは日本で「健康スポーツの普及活動」を始めました。

しかし当時はまだ生活習慣病が注目されておらず、また運動不足が病気を引き起こすことも知られていませんでした。スポーツは健康で強い人がするものだと考える人がほとんどで、多くの専門家に反対されました。

今でも病気になったら薬を飲んで寝て治す、というのが一般的ですが、ずっと寝てばかりいると生活する体力までなくなってしまうのです。このことを名医、ウィルドール・ホルマン教授が月に降り立った宇宙飛行士の、地球に帰り立ち上がることもできないほど弱くなった健康状態から解明しました。私は幸運にもホルマン教授と話をする機会に恵まれ、なんと奇跡的に日本での健康スポーツの普及活動を手伝っていただけることになりました。このことが少年の森につながる大きな第一歩となったのです。

ホルマン教授との「健康スポーツの普及活動」により、1970年代後半にはジョギングやエアロビクスを始める人が増えて健康ブームが起きました。しかしデスクワークがどんどん増えて受験戦争も厳しくなり、特に子ども達の体力が心配されていました。



ホルマン教授(左) 福岡先生(右)



“こどもは風の子、太陽の子、つまり自然の子だ。昔はワンパクだったこども達の活力を取り戻す施策を考えてくれ。地域にこどもの居場所として安全なみちづくり（みちくさの道）、人の集まれる場所としての鎮守の森や社寺林、遊休地、公園、そして何よりもこども達が大好きなキャンプや自然、あそびの出来る場所がほしい。たくましい身体に豊かな心、自然の中で若者に生きる力を取り戻そう。これは人間回復の場づくりだ!”

文部省体育局長 柳川氏より  
グリーンスポーツ施策をまとめるにあたりかけられた言葉

私とホルマン教授は文部省（現・文部科学省）を訪れ、当時の体育局長であった柳川覚治さんと「こどもは風の子、太陽の子」をスローガンに「グリーンスポーツ施策」をまとめました。当時のユニークな若手ランドスケープデザイナーだった高野文彰さん、その後昭和記念公園を手掛け著名な国際的なデザイナーとなった彼とイメージを作り、ポスター（上）を体育の日に合わせて配布しました。こうして、こども達の活力を取り戻す、人間回復の場をつくる「グリーンスポーツ施策」をスタートさせました。藤沢市少年の森はい

ち早く当時の葉山市長が理解を示し、グリーンスポーツ施設第一号として1980年（昭和55年）に整備が行われました。文部省として初めての拠点型施設、これが「少年の森」と呼ばれるようになります。



アスレチックの試作

グリーンスポーツの理念は、単なる拠点整備ではなく地域のつながりの場となるべく、あくまでも自然と人間との関りを創出することを考えており、最近ではグリーンインフラと呼ばれるイメージを先取りしたものでもあります。このように、特に藤沢市少年の森はグリーンスポーツ施策の第1号であったため、当時の理想の追求が省略されることなく全て含まれています。複雑な管理運営を丁寧に続けてくださったスタッフの方々、運営にご協力して下さる近隣ボランティアの皆様感謝です。

少年の森のアスレチックを楽しいものにするために、私は辻堂の自宅の庭に丸太を買って、当時幼かった私のこども達と試行錯誤の実験をしました。危険なところはあきらめやすく、挑戦できるところは練習すれば攻略できるように演出しました。古来から日本のこどもなら必ずやったであろうダム作りができるようじゃぶじゃぶ池を作り、1万年続いた縄文時代に食べていたどんぐりや栗が拾えるよう植栽を残しました。火をおこし、こんな生活をしていた記憶がみなさんの遺伝子に眠っているかもしれません。

人間は地球上でもっとも長距離を移動できる哺乳類で、身体を動かさなければ私のこども時代のように健康を害してしまうのです。特にこども時代に培った体力、自然に対する感性、一緒に過ごした家族や友達との愛情、思い出はその後の生涯を支えます。奇跡的に集まった当時の専門家達が総力を注ぎました。どうか少年の森で過ごした楽しい時間を、次の世代にも伝えてあげてください。



完成当時の少年の森

# 寄せ書き

元職員と来園者の方より



45周年おめでとうございます！  
1997～2000年度の4年間お世話になりました。  
ふつとはちゅと？ちがうアルバイトでしたが、  
いい思い出になりました。  
卒業してから25年経ち、今でもたまに子ども  
遊びに行かせてもらっています。  
本当にありがとうございました!! やべっち

キャンプファイヤー前の  
夕方の空気が好きでした。  
今でもなつかしく思い出します。

子供頃「かっこいい」と思っていた  
森のお兄さん。私も誰かのそんな  
森のお兄さんになれたのは  
分りませんが、素敵な時間を  
過ごせました。

シフトに入る回数も沈む物にはなれたけど、  
キャンプファイヤー、お祭り、お餅つき、トーチまわし、  
おぼケ役、田んぼ整備など、他のバイトでは  
体験できなかった思い出が詰まっています!  
あの時は汗ばんで疲れ果てていたけれど、おまつりや  
森人との思い出、最高の青春でした!!  
今も昔も変わらない森があることを願っています。

少年の森 45周年 <sup>やまけん</sup>  
おめでとうございます!  
大きな木をチェーンソーで倒したり、  
屋上でブルーシートを洗ったり、  
キャンプファイヤーを盛り上げたり...  
森でしかできない思い出  
最高の仲間たちと楽しい毎日でした。

少年の森は良いところですよ!!  
りんりん (2009～2009)

45周年  
おめでとうございます!!  
楽しい思い出が  
いっぱいあります。  
木を倒す快感は、  
ここから得られませんでした。  
たたくよ <sup>やまけん</sup>

りちやい、2004～2006年頃  
在籍

自然と親しんだ4年間でした。  
アウトドア派だったのに、アウトドアも好きに  
なれたのは、少年の森のおかげ!!!  
森での経験、森人との出会いは  
私の宝物です。 <sup>やまけん</sup>



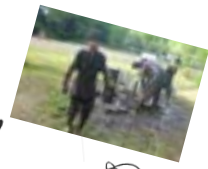
森は <sup>たこさん</sup>  
笑って <sup>やまけん</sup> 食べて <sup>やまけん</sup> 語り合った  
大切な場所  
森で身につけた「生きる力」が  
今、とっても役立っています!!  
ステキな時間と経験を  
ありがとうございました!!  
ちよこ

遊びも  
楽しく  
全カファイヤー!!  
2014 さんろ

みんなで力を合わせて大木を倒す仕事は  
もう二度とできない貴重な体験でした!! 子どもの前で  
レクをするのも好きになりました。今では我が子と  
遊びに行く大切な場所です。森大好きです。ありがとう!!  
ぽんた

いつまでもやり直しのまたこいよ  
声か枯れるほどのチクサクコール  
2週間を超える夏の連勤。  
シフトでもハイテンションな  
キャンプファイヤー。鶏。  
全部良い思い出です。きんとん

ありがとう少年の森  
森で食べた生揚げの味  
忘れないです... <sup>やまけん</sup>



2015年から森っ子のとむです。  
少年の森で「お兄さん」として関わりはじめ  
初めて「こういうことがしたい」と  
心の底から思えるものに出会いました。  
ここで過ごした時間が、  
私の原点であり、宝物です。  
これからも変わらず、  
みんなにとって素敵な場所でありますように。  
愛をこめて。とむ



## 祝45周年!

少年の森での仕事は、  
「挑戦」の連続でした。  
他ではできない経験を本当にありがとう!!  
まなこ (2014.9～2018.3)

今でも職場では森ネームと  
同じ名前が呼ばれています!!  
最高の名前をもらいました!!  
ありがとうございました!! <sup>じゅり</sup>



森と共に生きた  
4年間でした。  
少年の森LOVE!!  
2014年～2017年在籍 <sup>ぽんた</sup>



バイト楽しめたです。  
2014～17年、ちくわ

個性豊かな仲間と  
働いた4年間は  
かけがえのない日々でした!  
悪く見本だったのかもしれないが  
私は楽しかったです。  
かっほ (2015～2019年在籍)

少年の森45周年おめでとうございます!  
アルバイト時代はとて貴重な経験をさせていただきました。  
キャンプファイヤーの時にトーチをやったり、  
どんぐりを入れたクッキーを焼いて食べたり、  
今でも印象に残っている体験がたくさんあります。ぽんた  
本当にありがとうございました。

少年の森  
お世話になりました! 旺真

楽しい思い出をありがとうございました!!  
再整備後も何らかの形で関わっていきたいです





2016~2019 **四つわく☆**

キャンプしたり、三浪遊びしたり、  
コッコとたわぶおいたり。  
バイトだけじゃ第2の青春  
のような日々だったなあ。  
森で身につけたサバイバル術、  
生活力、コゲ落とし能力は  
今も私の生活の中で活き  
つづけています。45周年  
まことにおめでとうございます。

卒業した後、先輩・後輩・同期と  
連絡を取り合い今でも集まっています。  
良き仲間に出会えたことに感謝。  
一生の付き合いになろう。  
来年は、皆でマイアやろせ!!

**2020~2024 ありじん**

みどりの泉でカメとったり、キャンプファイヤー、  
夜のさんぽにプレ・パーク、イベントの中で  
沢山の方と自然の中ですごせしたこと、  
最高の3年間ありがとうございました!!  
45周年 おめでとう!  
父と自転車の練習をしたり、ザリガニを友達と  
捕ったり、ハチに刺されたり、超大きなカニを  
見つけたりと あげたらキリがないほど  
沢山の思い出が少年の森にはあります。  
十数年もとにもあんでくれた森にありがとう!

ざーさい 2020~2025  
長い間、お世話になりました。  
色々な経験をさせていただき、  
ありがとうございました。

築立って遊ぶにいきます!  
**少年の森**  
たくさんの方との  
出会いとたくさん  
の思い出を  
ありがとう。すず

火の神様と踊って歌ったキャンプファイヤー  
森のお仕事や夜の森探検 など  
少年の森では 貴重な体験ができて  
楽しい思い出がいっぱい。  
はむた・長谷川 貴子

幼少期には本格的なアスレック  
に魅了され、アスレックな、アスレックな  
少年の森の全てのエリアが大好きな  
かりました。森で働くアスレックがお客様  
と一緒に作りあげた森の時間はとても  
貴重な思い出です! 2016~2024  
はんぺん (R:ちくわ)

少年の森ありがとうございました!  
キャンプファイヤー、子チャン、  
ごろんこ... いろんな思い出が  
あります。教員を目指していた身として、  
最高の経験と積み重ねていただいた  
4年間でした! 今、教員として、  
バッチリ経験を生かしています!

シャク 2017~2020年度  
カメ食べたり、カエル食べたり、  
泥んこになったりした自然の中で  
苦手がも... 思っていた  
ファイヤーも好きになつて、  
学生生活の中のサロ一な思い出  
です! 楽しかった!

**トマト 2020~2024**



少年の森にはいつもドキドキがありました。  
図鑑でしか見たことがなかったマンタのドラゴリ。  
小川の川底の石に、9ニシが描いた軌跡。  
クリアできないアスレック。  
これかもう子どもたちにもドキドキを。  
いそっぺ

新しい組み方を学べたのが良かったです。  
サバイバルで役立てます。  
ゆうき・長谷川 裕記  
**少年の森**  
たくさんの方との  
思い出もありたい  
これからむふふ!!  
すんや

少年の森のことは  
今でも思い出すことが  
多いです  
とても楽しく  
懐かしい思い出です  
お世話になりました たわし

**少年の森 祝45周年!!**

他ではできない経験も  
たくさんさせていただきました!  
感謝!!!!



少年の森は  
人生のバイブルです!!  
3-1-1

特殊演出 Ver.ファイヤーは最高でした!  
トキどきするようにしたのは、フタ自慢  
にハマってます! へ  
さどる 2021~2024年度 在籍

子どもたちと作業したり  
スタッフおんなでつくり上げる  
キャンプファイヤーが  
とても楽しかったです!  
虫に噛まれたことも...  
一生の思い出です。  
はくちー 2021年在籍

自然や生き物が好きなので、  
女子を仕事にできて楽しかったです!!  
また、少年の森で色々鍛えられたおかげで、  
今、無事に社会人できてます笑  
少年の森最高!! とら



少年の森で作るカレーは  
最高においしいです!  
ラム  
アスレック・キャンプやリボウだ! レサイコー  
しまろし 橋本陸取  
緑がいっぱいで空気がおいしい  
こぐま 橋本 悠佑  
私のほととす場所 ゆき 橋本 希

少年の森で働けて  
幸運でした。  
さぼてん イチバン  
楽しい  
バイトでした  
くま  
らいち

在籍年: 2017~2021  
森 45周年おめでとう!  
これからも、じぶぶぶぶ池の水の計測  
よろしく願います!  
バイト始めて3日目?でトキどきおわって頭  
燃えたのが印象に残ってます  
50周年目指して頑張ってください!!

私は17年間少年の森で  
最高の思い出がありました。  
バイトの皆さんと一緒に  
森の整備をしたり、森で仲  
間づくりを楽しんだり、森  
の魅力を伝えてくれた地域  
の方々のパル一で楽しい  
森、スナキな森にあり、とし  
て私の成長にも力をくれた  
森でした。これがらも皆  
んな元気にしてくれて  
少年の森でありますよう  
に、  
子ども達ありがとう。  
おまけ

45周年おめでとう!  
気づけば少年の森も45周年。  
今もあの頃遊んだ日々を思い出します  
「常連」と呼ばれ毎日のように少年の森で  
過ごす日々は最高でした!  
虫取り、焼き芋、秘密基地などなど  
自然に触れながらたくさんの方の話をしました。  
中学生になってからは行くことが少なく  
なりましたが成人式の日 森に挨拶できたのは  
とても嬉しかったです!  
森最高!  
改めておめでとう。 はると

たき火で焼いたおにぎりか  
すごくおいしかったです。  
川(お)  
よるの木はけいたのしが、カブ虫を  
もらてたのから、森一  
はる、おー  
おすれちくたいます  
ふよこしまもとはる









## 編集後記

藤沢市少年の森は、昭和55年の開園以来、子どもたちが自然とふれあい、仲間と学び合う場として多くの思い出を育んできました。四季折々の森の表情に包まれながら、市民の皆様をはじめ、市外から来園される皆様、地域の方々、青少年団体、ボランティアの皆様を支えられ、このたび開園45周年を迎えることができました。

今回の記念冊子では、これまで少年の森に関わってくださった方々の声や活動の記録を通して、「少年の森」が歩んできた歴史と、未来への想いをお伝えることを目指しました。

時代が変化しても、自然の中で過ごす時間の尊さや、人と人がつながる喜びは変わりません。これからも多くの子どもたちが少年の森で笑顔を咲かせ、次の100年へと新たな物語を紡いでいけるよう、職員一同、心を込めて取り組んでまいります。

ご協力くださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

藤沢市少年の森


2025

## 少年の森の四季



## 青少年野外活動施設 藤沢市少年の森

〒 252-0824 神奈川県藤沢市打戻2345  
Tel 0466-48-7234 / Fax 0466-48-7249  
E-mail [mori@f-mirai.jp](mailto:mori@f-mirai.jp)

公式ホームページ   
<https://f-mirai.jp/youth/mori>

---

発行日	2026年3月31日
発行	指定管理者 公益財団法人藤沢市みらい創造財団
印刷	有限会社アート稲元
編集	前田かれん(少年の森だいすきクラブ)

またこいよ！

